

第六十四回
帝國議會
貴族院

恩給法中改正法律案特別委員會議事速記録第七號

昭和八年三月二十日(月曜日)午後二時四
十分開會

○委員長(伯爵瀧口直亮君) ソレデハ委員
會ヲ開會イタシマス

○公爵一條實孝君 私甚ダ懶ケタト云フ譯
デハアリマセヌガ、他ノ委員會ニ行ッテ居
リマシテ、皆様ノ質疑應答ヲ十分ニ承知シ
マセヌデ、漸ク速記録ニ依ッテ若干拜見シ
タノデアリマス、重複シテ質問ヲ致シマス
ト、誠ニ相濟ミマセヌガ、若シ其コトハハッ
キリ決マッテ居ル質問デアルト云フコトデ
アリマシタラ、御遠慮ナクソレハ速記録ノ
何日ノ所ニアルト仰シテ戴キタイ、第一ニ
伺ヒタイノハ、此恩給法ノ附則第一條「本
法ハ昭和八年十月一日ヨリ之ヲ施行ス」、ア
ト但シ書ガ何カ附イテ居リマスガ、此十月
一日ト云フコトガ一體ドウ云フ見地カラス
ウ云フコトニナッタノデアリマスルカ、是ハ
一ツ説明ヲ伺ヒタイノデアリマス

○政府委員(議員三君) 是ハ法律ガ通り
マシテ、何時カラヤルカト云フコトデ、四
月一日ト云フヤウナコトモ考ヘラレマス
ガ、勅令其他ノ準備ヲ致シマスルニ、到底
間ニ合ヒマセヌ、ソレカラ少シ先ヘ行カナ

ケレバイカナイトシテ、何時ト云フ……色ミ
考ヘマシタノデゴザイマスガ、現在ノ恩
給法ガ大正十二年ノ十月一日カラ施行イタ
サレマシテ、丁度此法律ノ施行ヲ十月一日
ニ致シマスルト、滿十年ニ丁度ナリマスル
ノデ、色ミ在職年數ノ計算、通算ナドヲ致
シマスル場合ニ於テモ、ソレカラ先程申シ
マシタ色ミナ勅令其他ノ準備ヲ致シマスル
ニ付テモ、非常ニ好都合ナコトゴザイマ
スカラ、ソコデ原則ハ十月一日ト致シマス
シタ、デ其外ノ四十六條ノ二トカ、五十八
條ノ第一項ト云フヤウナ規定ハ、四十六條
ノ二ノ方ハ、是ハ扶助金ガ、本年度ノ豫算
デ、是ハ臨時費デゴザイマスガ、本年度ト
申シマスルト語弊ガアリマスガ、八年度デ
スガ、陸軍、海軍ノ方ノ豫算デ取ッテ居リマ
スカラ、サウスルト總目ニ當ル所デ、來年
ノ四月一日ト云フコトニナリマス、ソレカ
ラ五十八條ノ方モ所謂多額所得者ノ停止ノ
點ニ付キマシテハ、是ハドウ云フモノヲ所
得ニ見ルカト云フコトニ付キマシテ、可ナ
リ細カイ事柄ヲ考ヘナケレバイケマセヌ
シ、ソレカラ其考ヘタ末ガ成ルベク停止ト
所得トノ接近ヲ圖ラナケレバイカヌト思ヒ

マスカラ、サウ致シマスルト大藏省ノ主税
局方面デ其實行手續ヲ考ヘテ貫ヒマスノニ
シマシテモ、十月一日デハ到底イケナイノ
デ、年度ノ更リマス來年ノ四月一日ト云フ
モノヲ押ヘルノガ最モ便宜ダラウト云フノ
デ、ソレデ斯ウ云フコトニ致シマシタ

○公爵一條實孝君 先程私ハ「昭和八年十
月一日ヨリ之ヲ施行ス」ト云フ方ニ付テ實
ハ伺ッタノデアリマスガ、但書以下ノ方モ御
丁寧ニ御答ヲ戴キマシテ有難ウゴザイマシ
タ、大體此十月一日ト云フコトニ付テ、今
位ノ唯滿十年ト云フ位ノ御考デ、陸海軍ノ
權衡ト云フヤウナコトハ御考ノ中ニナカ
タノデアリマスカ

○政府委員(議員三君) 陸海軍ノ權衡ト
云フ風ナ特段ナ材料ハ考慮ニ入レテ置キマ
セナカッタ

○公爵一條實孝君 私ハ其點ガ非常ニ重大
ナル結果ガアルノデヤナイカト思ヒマス、
昭和八年度ノ歳入歳出總豫算追加ノ四十一
頁ニ舉ゲテアリマス昭和八年度歳入豫算追
加明細書ト云フ所ノ第五項ノ中デ、武官納金
一萬六千三百十四圓、是ハ段々私内容ヲ伺ッ
テ見ルト云フト、單ニ海軍武官ノ納付金ニナッ

テ居リマス、ソシナコトハ恩給局長ハ全ク
御考ヘガナカッタノデアリマスカ、御承知ノ
通り陸軍ハ八月ガ定期進級ノ大體毎年決
マッテ居ルコトデアッテ、海軍ノ方ハ十二月
一日ガ定期進級、斯ウ云フコトハ我ミデナ
クテモ御存ジガナケレバナラヌ、又恩給法
ト云フヤウナモノヲ御出シニナッテ今年ハ
武官ニ對スル納入金ト云フヤウナモノヲ御
定メニナル以上ハ、同ジ昭和八年ノ中ニ進
級シタ陸軍武官ニ對シテハ納入金ガ全然ナ
イ、海軍ノ方デ納入金ガアルト云フコト
ハ、是ハ非常ナ私ハ政治トシテノ公正ヲ常
ニ考ヘナケレバナラナイ立場ノ人ガ、考ヘ
ナケレバナラヌコトト思ヒマス、而モ是ハ
一年限リデアリマセヌ、昭和八年度ハ一萬
六千三百十四圓、海軍ガ納メテ、來年カラ
陸軍ガ納メルト云フ譯合ノモノデアリマセ
ヌ、假ニ大佐ガ少將ニ進級スルトナカノ
コ、五年ナリ六年ナリト云フモノハ、動カ
ナイノデアリマスカラ、海軍ノ方デハ、一
方ニ於テハ納入金ヲ五箇年納メル、同ジ年
ニ進級シタ陸軍ノ方ハ一文モ納メナイ、斯
ウ云フ風ナコトハ直グ分ルコトデ、ソレヲ
單ニ十年目ニ之ヲ改正スルノダトカ、恩給

年月ノ計算ガドウダトカ云フヤウナコトハ極メテドウモ私ハ、失禮ナ話ダガ、杜撰ナコトノヤウニ思フノデスガ、其邊ニ付テ陸海軍ト御打合せガアツクノデアリマスカ、如何デアリマスカ、私ハ此點ニ付テハ幸ニ中井恩賞課長ガ此處ニ御出デニナリマスカラ、中井恩賞課長ニ伺フテ見タイト思ヒマス

○説明員(中井良太郎君) 陸軍ト致シマシテハ、施行期日ニ付キマシテハ確カニ相談ヲ受ケマシタ、是デ差支ナイト思フテ居ルノデゴザイマスガ、何レ定期異動ハ八月一日及十二月ニモ一部ノ異動ゴザイマス、何處カガ引掛ルコトニナツテ居ルノデゴザイマスガ、此前ノ恩給法ノ施行期日ト蹴ヲ合ハシタ方ガ總テノ方ニ於テ效果ガアルノデハナイカト、斯ウ云フ風ニ思ヒマシテ御同意ヲ致シマタ

○公爵一條實孝君 海軍ノ方ノ御答ヘヲ願ヒタイ

○説明員(多田武雄君) 施行期日ヲ十月一日ニ定メマスコトニ付テハ、海軍トシテモ御相談ニ與テ居リマシテ、事務的ニ考ヘマシテ成程是ハ丁度カッキリ十年目ニナル、事務上相當ノ便宜モアリマスルカラト云フ理由ノ下ニ同意シテ出來タノデゴザイマス

○公爵一條實孝君 海軍ノ説明者ニ向テ

私ガ彼是レ言フノヂヤアリマセヌガ、今御答ヘニナリマシタ所ハ御諒解ニナツタカラ爲サツタノデアリマスカ、或ハ唯十月一日ト云フコトヲ漫然ト御引受ニナツタ結果ガ斯ウ云フ重大ナ結果トナツテシマツテ、今更後悔サレテ居ルト云フノヂヤナイデスカ

○説明員(多田武雄君) 先程陸軍ノ恩賞課長カラモ申サレマシタヤウニ、或ル特定ノ期日ニ其施行期ヲ決メマスルト、其前後ノ境目ニ於キマシテ、之ヲ境トシマシテ、其前後ノ所謂損得トデモ申シマセウカ、サウ云フ權衡上ノ問題ハ已ムヲ得ナイト云フ風ニ考ヘテ居ラタノデゴザイマス、尙ホ是ガ其年度ノ豫算計畫上ニドウ影響スルカト云フコトハ、實ハ考ヘテ居リマセヌ

○公爵一條實孝君 甚ダ私不徹底ナ御答ヲ得タヤウナ氣ガスルノデスガ、斯ウ云フコトハ餘ホド御考ヘニナツテノ上デナイト云フト、御相談ガアツタトスレバ御答ガ出來ル筈デアリマスガ、今ノ多田中佐ノ御話ニ依リマス、何ダカ斯ウ已ムヲ得ナカツタ

ンダト云フヤウナコトデ、ソレガ私ハ陸海軍ノ將校其他ノ人ノ、或ハ下士官モ關係シマセウ、士氣ニ及ボス影響ガ非常ニ私ハアルノダト思ヒマス、是ハ私ハ失禮ナ話ダガ、海軍ガヌカッテ居ルト云ヘバヌカッテ居

ル、サウ云フコトデハ非常ニ困ルコトガ起ルノヂヤナイカ、現ニ困ツテ居ラレルト云フコトヲ私ハ聞イテ居リマス、實情ヲ聞クト云フトサウデアリマス、責任者トシテノ人事局デ御答ヘニナツタ當事者トシテハ、今更困ツタトモ言ヘナイカラ、今ノヤウナ曖昧ナル答辯ヲ速記録ニ留メラレルノデアリマセウガ、是ハ私ハモット率直ニ御話ヲ願ヒタイト思フ、我ミガマダ之ヲ修正スル權能ハ十二分ニ持ツテ居ル、衆議院デ十月一日カラ施行スルト云フコトデ通ツタノダカラ、貴族院モ盲從シナケレバナラスト云フコトハ決シテアリマセヌ、モウ一遍海軍當局ノ率直ノ御答ヲ願ヒタイ

○説明員(多田武雄君) 此政府案ニ對シマシテ、海軍ガ同意ヲシテ出來タ案ニ對シテ今困ツテ居ルコトガアルヂヤナイカト云フ點ニ付キマシテハ、説明員ト致シマシテ御答イタシ兼ネルト思ヒマス、政府委員ノ方カラ御答イタシマス

○公爵一條實孝君 然ラバ私ハ恩給局長ニ一ツ御伺ヒシマス

○政府委員(樋貝詮三君) 十月一日ノコトニ付キマシテハ、先程申上ガマシタヤウナ事情デアリマスガ、公爵ノ仰シヤルヤウニ八月ダケヲ考ヘマス、正ニサウ云フコト

ニナリマシテ、是ガ例ヘバ唯是ダケ一遍ダケ年度内ダケニ取ルト云フヤウナデアリマス、非常ニ差違ガ生ズルコトハ御説ノ通りカト思ヒマスガ、長クズツト順々ニ取テ參リマス爲ニ、結局是ガ例ヘバ十二月ヲ超エテ取始メルト云フコトニ致シマス、之ヲ昭和九年ノ一月一日カラ施行スルト云フコトニナリマス、陸軍ノ方ハ早クカラ取ラレル、デ半年以上モ遅レナケレバ海軍ノ方ハ取ラレナイ、結局其點モ亦サウ變レバ不公平ト云フコトニナリマス、ドチラニシマシテモ多少ノ程度ハアリマセウト思ヒマスケレドモ、長クズツト取ツテ行ケバ、其時期ガ何時デアルカト云フコトニ付テ、兩方ノ進級時期ガ一致シ、又文官ノ昇級時期ガ一致シナイ限りハ、ドレニ致シマシテモ多少ノ相違ガアルダラウト思ヒマシテ、從テ十月一日ガ海軍ノ方面ニ幾ラカ、納入ニ付テ、陸軍ヨリカモ、最初ノ支拂ノ間ガ不利益デアルト云フコトノ點ハアルカモ知レマセヌケレドモ、是モ翌年ノ一月ニスレバ、矢張り陸軍ノ方ノ支拂ノ間ニ不利益ガアルト云フコトニナルト、ドチラニ致シマシテモ俗ニ言フ痛シ痒シノ結果ニナリマスカラ、此邊デ忍ンデ戴ク外仕方ナイト思フテ居リマス

○公爵一條實孝君 恩給局長ノ御話ハ數字ヲ全ク頭ニ入レズニ、ソレハドツチニシテモ多少早クカラ取ラレル所モアルノダト、

斯ウ云フ風ナ概念的ノ御話デスガ、私ハ年度ト云フヤウナモノガハッキリ決マツテ居ルノナラ年度ノ内ノモノヲ見ルガ宜カラウシ、又八月ト十二月ト云フ進級ノ陸海軍ノ違ッテ居ルト云フコトハハッキリシテ居ルノ

ヘテ行カナケレバナラスカト思フノデアリマスガ、政府ノ方トシテ、警察官ノ優遇ノ建議ノ趣意ニ、此恩給法中改正法律案ヲ修正イタシマスルト云フヤウナ場合ガアッタラ、政府ノ方デハドウ云フ考デスカ

増額ヲシテ参リマシヤウナ、又公務傷病ニナリマシテ、サウシテソレガ死ニマシタヤウナ、平病デ死ニマシタヤウナ場合ニモ是モ三割五分ヲ増加シテ行クト云フヤウナコトガ考ヘラレテ、居リマスノデ、達者デ居ル、何デモナイ平和ナ時ニ於ケル場合ニ於テハ、一般ノ公務員ニ付テ、即チ下士以下ノ場合ハ別デアリマスガ、一般ノ場合ハ延バサレル年數ダケ延バサレスマガ、斯ウ云フヤナモノニハ今マデ顧ミラレナカッタ所ガ、十分ニ救ハレルコトニナリマスルシ、又大正十二年ヲ境ニ致シマシテ、不公平ガ起ッテ居リマス所ノ警察官即チ巡查及刑事ニ、即チ一般文官トノ通算關係デアリマシテ、其附則ニ於テ、附則ノ第十五條デアリマスガ、ソレニ依ッテ十分不公平ガ救済サレルコトニナリマス、色ミナ點ニ於テ只今ノ警察官優遇ニ對スル所ノ趣意ニ合スルト考ヘマス

○公爵一條實孝君 警察官ノ優遇ニ關スル政府ノ御考モ大體分リマシタ、次ハ私ハ非

常ニ愚問デアアルカモ知レマセヌガ、實ハ法制ノ知識ガ非常ニ乏シイ爲ニ、斯ウ云フ馬鹿ナコトヲ御伺ヒスルコトニナルト思フノデアリマスガ、多額所得者ノ恩給停止ト云

○政府委員(堀切善次郎君) 此施行期日ノ關係ハ只今申上ゲマシタヤウニ、十月一日カラ爲サレル方ガ、前ノ恩給法ノ改正ノ時、施行ノ丁度滿十年ニナリマスル關係上、色ミ規定ノ改正ニ付キマシテ、計算上ノ便宜ヲ持ッテ居ル次第デアリマス、サウ云フヤウナ點カラモ考ヘマシテ十月一日ト致シマシタ次第デアリマシテ、只今ノ一條公爵ノ御質疑ニ對シマシテハ、十分更ニ又考ヘマシタ上デアリマセヌト、今直チニ明言申上ゲルコトガ、致シ兼ねル次第デアリマス、其點ヲドウゾ惡シカラズ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(堀口銓三君) 假ニ御修正ニナリマスルモノトシテ、ドウ云フヤウナ御修正デアアルカ、内容ヲ承ハラナイト、具體的ニ申上ゲルコトハ出来マセヌガ、併シ此案ニ於キマシテハ、傷病年金ハ將來ニ向ッテ、巡查ナドノ、即チ警察官、巡查ニ於キマシテモ刑事ニ於キマシテモ同様ニ参リマスガ、之ニ該當スルヤウナ一時金ハ、下士以下ノ軍人ニ於テノミ之ヲ與ヘテ居ッテ譯デアリマスガ、ソレヲ警察官ナドモ將來ニ向ッテ與ヘルコトニナリマシテ、是ハ今日ノ危険ナル狀態ノ場所ニ踏ミ込ミ、危険ナ職務ヲ執ラネバナラヌ場合ニ於キマスル警察官ニ對シテハ、少々ノ年數ノ延長即チ何デモナイ時ニ於ケル年數ノ延長ナドニ代ヘラレヌコトデハナイカト云フヤウニ考ヘテ居リマス、ソレカラ尙又サウ云フヤウナコトデ職務ニ斃レルヤウナ場合ニ於キマシテハ、其扶助料ニ付キマシテハ、特殊扶助料ト致シマシテ、是モ三割位デハアリマスケレドモ、

○公爵一條實孝君 警察官ノ優遇ニ關スル政府ノ御考モ大體分リマシタ、次ハ私ハ非

常ニ愚問デアアルカモ知レマセヌガ、實ハ法制ノ知識ガ非常ニ乏シイ爲ニ、斯ウ云フ馬鹿ナコトヲ御伺ヒスルコトニナルト思フノデアリマスガ、多額所得者ノ恩給停止ト云

シタイト思ヒマス

○公爵一條實孝君 此附則ノ一條ニ付テノ私ノ質疑ハ是デ止メマス、次ニ只今貴族院ノ本會議ノ方ニ上程サレルコトニナッテ居リマスガ、警察官ノ待遇ニ對シテ、モット優遇シナケレバイカスト云フ建議案ガ慥力出マシタ筈デ、今日ノ日程ニ警察官優遇ニ關スル建議案ト云フモノガ上程セラレルヤウニナッテ居リマスガ、其精神ト此恩給法中ノ改正法律案ニアル所ノ警察官ニ對スル所ノ所謂恩給ニ對スル條項ニ、矛盾ガアリハシナイカト思フノデアリマス、是ハ先程井上君ノ懇談中ノ御話ニモアッタヤウデアリマスルガ、此點ハ一體ドウ云フ風ニ我ミガ考

ヘテ行カナケレバナラスカト思フノデアリマスガ、政府ノ方トシテ、警察官ノ優遇ノ建議ノ趣意ニ、此恩給法中改正法律案ヲ修正イタシマスルト云フヤウナ場合ガアッタラ、政府ノ方デハドウ云フ考デスカ

○公爵一條實孝君 警察官ノ優遇ニ關スル政府ノ御考モ大體分リマシタ、次ハ私ハ非

常ニ愚問デアアルカモ知レマセヌガ、實ハ法制ノ知識ガ非常ニ乏シイ爲ニ、斯ウ云フ馬鹿ナコトヲ御伺ヒスルコトニナルト思フノデアリマスガ、多額所得者ノ恩給停止ト云

フ此條項デアリマス、是ハ一體他ノモノニハ非常ニ微細ニ既得權トカ、或ハ此前ドコカデ御説明ト云ヒマスカ、應答ガアリマシタヤウニ、希望權トカ、色々議論ガアッタヤウデシタガ、サウ云フ既得權、希望權トカ云フモノハドウ云フ風ニ考ヘラレルノデアルカ、私法制上ノ知識ガ非常ニ缺ケテ居リマスノデ、軍人トシテノ法律解釋ノ知識シカナイ人間デアリマスカラ、一體多額所得者ノ恩給ト云フモノヲ、私ノ考ニ致シマスト云フト、所謂既得權ノ侵害トデモ申サレ得ルト思フノデアリマスガ、之ダケヲ特ニ侵害ヲシテ、其他ハ實ニ巧妙ト云ヒマスカ、最善ノ注意ヲ以テ既得權ノ侵害ニナラナイヤウニシテ居ラレル、何故ニ斯様ナ差別觀念ヲ御持チニナル必要ガアッタノデアリマスカ

○政府委員(榎貝詮三君)

是ハ御説ノ如ク之ヲ侵害ト云フ言葉ガ必シモ適當ダトモ思フテ居リマセヌガ、既得權侵害ト云フ言葉ヲ若シ使ヘルトスレバ、既得權侵害ニ或ハ相成ルカモ知レマセヌガ、増税ナドニ於キマシテ、税法ノ改正ナドニ於キマシテハ、斯ウ云フ意味ニ於ケル既得權侵害ナシニハ殆ド出来マセヌノデアリマス、立法上既得ノ利益ヲ減シテ之ガ減少ヲ圖ルト云フヤウ

ナコトハ、是ハ澤山アルコトデアリマシテ、マア珍シクアリマセヌガ、恩給法ノ今度ノ改正ニ付テ、主トシテ從來ノ利益或ハ權利ヲ保護シテ居ルニモ拘ラズ、之ニ付テノミ何故ニ既得ノ恩給者ニ迄之ヲ及ボスカ、斯ウ云フ御尋ダラウト思ヒマスガ、一昨日カト思ヒマスガ、此既得權ト云フコトガ問題ニナッタト思ヒマスガ、例ヘバ年數延長ニ致シマシテモ、或ル意味ニ於テハ既得權、權利トハ申セマセヌガ、既得ノ或ル利益ヲ侵害……ト云フ言葉ハ不穩當ノ第二ノ意味ヲ持來シマスカラ甚ダ困リマスガ、サウ云フ結果ニナルト云フ譯デ、本質ニ於キマシテハ是バカリデハナイノデ、唯權利ト云フ形ニナッタノニ對シテ行クノガ、是ダケダト云フコトニナリマスノデスガ、之ヲ斯ウ致シマシタ所以ハ何故カト申シマス、是ガ恩給給與ガ不當デアルト云フ意味デハ無論ナイノデゴザイマシテ、此恩給法ノ改正法律案理由書ニモ述ベテ置キマスヤウニ、不合理ナル又ハ餘裕ヲ存スル諸點ヲ整理シテト云フノデ、其餘裕ヲ存スル諸點ト申スノハ是ナドヲ考ヘタ譯デアリマスルガ、恩給額ニ致シマシテモ千圓以上ヲ貰テ居ル、ソレカラ外ノ所得ニ致シマシテモ、或ハ會社ノ重役ニナルトカ、或ハ外ニ多クノ收入ガ得

ラレル、固ヨリ其收入ハ恩給ノ爲ニ得ラレル、固ヨリ其收入ハ恩給ノ爲ニ得ル收入デハナイノデゴザイマセウケレドモ、恩給ガ官吏ヤ軍人ニシテ其職務ニ專念シテ居ル爲ニ、ソレガ爲ニ老後ノ計ヲ圖テ居ルコトガ出来ナイ、ト云フコトニ對シテ國家ガ恩給ヲ與ヘテ居ルヤウナ次第デアリマスルカラシテ、何處カ餘裕ノアル點ニ財源ヲ求メテ、サウシテ現在非常ニ困テ居ル者ニ多少デモ多クシヤウト云フコトヲ考ヘマスト、ドウシテモ此處ラガ一番餘裕ガアル、ソレハ恩給給與ガ不當ダト云フヤウナ意味デハ全然アリマセヌケレドモ、幾ラカ財源ヲ得ルト云フコトニ付キマシテハ、一番餘裕ガアル點ト考ヘルノガ相當アラウ、色々ナ是ハ先日公爵カラ御叱リヲ受ケマシタノデスガ、兎ニ角多數ノ聲ガ、斯ウ云フ所デ何トカシテ貫ヒタイト云フヤウナ聲モ相當ニアリマスノデ、ソレガ善イカ惡イカ別ト致シマシテ、別ニ議論ハアリマセウケレドモ、兎ニ角斯ウ云フ所ニ餘裕ノアル收入アル方ガアルト云フコトハ考ヘラレマスノデ、ソレナラバ是ガ寄附ノ形ニデモ出テ行クヤウニナリマスルト更ニ麗ハシクナルトハ思ヒマスケレドモ、併シ例ヘバ寄附ナラ寄附ト云フコトニナリマスルト、又ソコニ

別種ノ弊害モ生ジマスヤウナ譯デ、斯云ウフ所ニユトリノアル方面ニ忍ンデ戴ク、サウシテ外ノ方ニ、平タク申セバ廻ハスト云フコトニシタイト云フ積リデアリマスガ、是ハ將來ニ向ッテノ恩給ノ受給者ダケヲナシニ直チニ斯ウ云フ方ニ付テハ餘裕ヲコッチニ廻ハシテ戴キタイ、斯ウ云フ精神ニ外ナラヌノデアリマス

○公爵一條實孝君 丁度法制局長官ガ御出イノデスガ、今ノ問題ニ關係シテ、私ハ是ハ當然既得權侵害ニナルト思フ、私偶、コチラノ會議ト共ニ鐵道ノ敷設法ノ改正法律案ノ委員長ヲヤッテ居リマス、其方デ地方鐵道ノ補助法中ノ改正法律案ガ上程サレマシタ、ソコデ鐵道當局カラ忌憚ナイ話ヲ聞イテ見マス、非常ニ法制局ニ於テハ既得權侵害ト云フコトハ神經ヲ尖ラシテ居ル、非常ニ細心ノ注意ヲ拂ハレテ、此既得權ノ侵害ヲ起サヌヤウニ致スト云フ立前デ、地方鐵道ノ補助法中ノ改正法律案ニモ、既得權ハ少シモ侵害シナイト云フ立前デ出来テ居ルヤウニ伺ッタノデアリマス、然ルニ今ノ恩給局長ノ御言葉デ見ルト、誠ニ通俗の、俗ニ雜談デ御話ニナルヤウナ、ドウモ多額ノ所得者ト云フ者ガ恩給ヲ取ッテ居ルノハ

餘裕ガアリサウダカラ、此邊カラチヨット

取テ來テ外ノ方ヘ廻スンダト、斯ウ云フ

御話以外ニハ私ニハ認メラレナイ、極メテ

立法的ニ言フテ不正デアル、公正ヲ表明

サレテ居ル齋藤内閣ノ取ラレマシタ改正法

律案トシテ、私ハ之ヲ敢テ改惡法律案ト申

シマスガ、斯ウ云フモノヲ御出シニナルト

云フコトガ一つ、既得權ノ侵害マデスル、

サウシテ而モ出ス所ノ金ガ二十五萬圓、二十

五萬圓ハ少イガ、何レ斯ウ云フコトデ金ノ

アル所カラ取レバ宜イト云フヤウナ、マア

社會主義者ノ言フヤウナコトヲ議論シテ行

ケバ、二割ハ暫定的ダ、廳テ五割ニモ其全

額ニモスルノダト云フヤウニ、私ハ衆議院

ノドコカノ速記録ノ中ニモ恩給局長ノ志ガ

仄見エテ居ルカノヤウニ私ハ感ズル、二割

ダカラ金持喧嘩セズデ以テ、不當ニ取ラレ

ヤウガ、是バカリノコトデ變ナ感ジヲ世間

カラ受ケルヨリハ、僅バカリ二割ダカニ我

慢シテ置ケト云フヤウニ、或ル意味ニ於テ

ハ弱イ意氣地ノナイ、或ル意味ニ於テハ

少數デアッテ弱イカラ、斯ウ云フヤウナ所ニ

壓力ガ加ハルノダト云フヤウナコトヲ、一

體私ハ立法精神カラ言ッテ、爲スベキカ、爲

スベカラザルカト云フ點ヲ私ハ幸ヒ法制局

長官ガ御出ニナッタノデ、又法制局長官ハ

多年法制局ニ御出ニナッテ立法上ノコトニ

付テ殊ニ御詳シイノデアリマスカラ、私ハ

此點ニ付テノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(黑崎定三君) 只今一條公爵ノ

御質問ノ點デゴザイマスガ、御話ノ通り既

得權ト云フコトニナリマスルト、法令改正

ノ結果ニ付キマシテハ、成ルベク既得權ハ

尊重シテ行キタイト云フ氣持ハ、是ハ從前

カラモ變リナク持ッテ居ルノデアリマス、併

ナガラ他方面ニ於キマシテ其既得權ト申シ

マスモノノ、矢張り將來ニ向ッテノ制度ヲ

考ヘテ見マスル時ニ、其妥當性ヲ考ヘテ見

マシテ、苟モ既得權デアルカラ如何ナル立

法モ之ヲ侵害シナイト云フコトニハ考ヘテ

居ラナイノデアリマシテ、成ルベクハ之ヲ

尊重イタシマス氣持ハ十分アルノデアリマ

スガ、唯所謂普通ニ考ヘラレマス既得權デ

アリマシテモ、將來ニ向ヒマシテ多少ソコ

ニ妥當性ヲ見出し得マスル場合ニハ、ソレ

ニ觸レテ制度ヲ改正イタシマス場合ガアル

ノデゴザイマス、サウ云フ意味合ヲ以チマ

シテ、今回ノ恩給法改正ノ只今ノ御質疑ノ

アリマシタル點ニ關シマシテモ、唯ボンヤ

リ金持ダカラドウノ斯ウノト云フ意味デモ

ゴザイマセヌ、普通第三種所得ノ關係ヲ考

慮ニ入レマスガ、前々カラモ度々相當ノ恩

給ヲ取ッテ居リナガラ尙ホ働キ得ル人ガア

ル、サウシテ働イテ居ッテ相當ノ收入ヲ得

テ居ル、元來恩給ノ方ハ多年公務員ト致シ

マシテ職務ニ忠實ニ盡シテ居リ、謂ハバ本

來カラ申シマスレバ後顧ノ爲ニ考ヘルコト

ナク、詰リ後ノコトヲ考ヘルコトナク一意

専心公務ニ盡シテ居ッタト云フ趣旨デ給與

シナケレバナラス、然ルニ退官シテ見マシ

テモ尙ホ働キ得ル、而モ其働イタ働キニ對

スル報酬ガ非常ニ多額デアル、斯ウ云フヤ

ウナコトハ恩給給與ノ上カラ見テモ甚ダ面

白クナイト云フ聲ガ段々多イノデゴザイマ

シテ、私共モサウ云フ考ヘ方ガ、多少ソ

コニ考慮ヲ致シテ然ルベキモノガアルヤ

ウニ考ヘマシタ、サウ云フ意味合ヲ以チ

マシテ、今度ノ改正案ヲ提案イタシタ譯デ

ゴザイマス、出來マスコトナラバ、無論斯

ウ云フ問題ニ付キマシテ、既ニ極ッテ居リ

マス金額ヲ將來ニ向ッテ減額スルト云フ

コトハ、相成ルベクハ是ハ避ケタイト考ヘ

ルノデアリマス、御承知ノ通り前々年ニモ

公務員ノ俸給減額ヲ致シマシタノモ、矢張

リ考ヘヤウニ依リマスレバ、其根據ハ法律

デハゴザイマセヌ、勅令デ基礎ガナッテ居

リマスケレドモ、其勅令ニ基キマシテ、各

人ニ幾ラノ給與ト斯ウ言ッテアリマス分

ヲ、矢張り勅令ニ依ッテ矢張り將來ニ向ッテ

減俸イタシテ居リマス、矢張り其額ノ關係

及ビ其諸般ノ事情上、此程度ニ於テ斯ウ云

フ事情ノ下ニ於テハ、其妥當性ヲ認メラル

ルモノデアラウ、斯ウ云フコトデ行ハレタ

モノト了解イタシテ居ルノデアリマス、今

回ノ恩給法改正ノ此點ニ關シマス分モ、矢

張り右様ノ趣旨ヲ以チマシテ改正イタシタ

ノデゴザイマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○公爵一條實孝君 只今ノ法制局長官ノ御

答ハ、先般來恩給局長ノ御答ニナッタコト

ト餘リ違ハナイノデアリマス、ドウモ私ハ

御考ノ基礎ガ違フノヂヤナイカ、餘リ是以

上ハ、論戰ニナリマスカラ、申上ゲタ所デ

質問ニナリマセヌカモ知レマセヌガ、モウ

少シハッキリト今私ハ申上ゲテ置キタイ、成

程今御引例ニナリマシタ、私モサウ御出デ

ニナルドラウト思ッテ居リマシタ、官吏ノ俸

給ヲ下ゲルノハ、既得權ノ侵害ト仰シヤレ

バ、私モ認メマス、ソレナラバ、何故ニ恩

給者ニ對シテハ多額ノ所得者ヲ認メ、現在

ノ官吏ニ對シテハ、多額ノ所得者ヲ何故ニ

認メナイカ、斯ウ云フ議論ニ對シテノ御答

辯デアリマス、一ツ法制局長官ニ願ヒマス

○政府委員(黑崎定三君) 只今ノ御答ハ多

額ノ俸給ヲ受取ッテ居ルヤウナ……

○公爵一條實孝君 訂正イタシマス、多額ノ所得者ノ恩給ヲ停止スルナラバ、何ガ故ニ多額ノ收入アル者ノ俸給取りヲ減額ナサラナイカ、斯ウ云フノデ、私ノ言葉ガ誤、テ居リマシタ

○政府委員(黒崎定三君) 御尤デアリマス、恩給法ニ付テ斯ウ云フ今度ノ改正案ノヤウナ、先程述べマシタヤウナ趣旨デ、減額ニナルヤウナ結果ノ方策ヲ取ルナラバ、一般官吏ノ俸給モ亦、多額ノ所得者ノ者ニハ少イ俸給ヲヤッデモ宜シイデヤナイカ、斯ウ云フ御間ノヤウニ拜承イタシマシタ、唯私共考ヘテ居リマスノハ、此俸給ノ方ハ、他方職務ヲ執リマス、多額ノ所得者ナル爲ニ、只デ、只ト云フト少シ極端ニナリマスガ、報酬ナシニ、若クハ少キ報酬ヲ以テ或ル職務ヲ執ル、執ラセルト云フコトト、ソレカラ恩給ノ方ハ、是ハ恩給ヲ取ッテ居リマス間ハ斯カル公ケノ職務ヲ執ルト云フコトトハ關係ガゴザイマセヌノデアリマスカラ、一方俸給者ニ於キマシテハ、是ハソレノ當該官職ニ付テノ職務ヲ持ッテ居ル、其職務ヲ遂行ヲ現ニ致シテ居ルト云フコトカラ考ヘテ見マスルト、其異、テ居リマス點ガ、此恩給法ノ方ニハ斯ウ云フ制定ヲ取リマシテモ、俸給ノ方デハ假ニ多額ノ所得ガアリマ

シテモ、是ハ在職シテ職務ヲ執ッテ居ルト云フコトノ前提ト致シマシテ、俸給ガ貰ヘテ居リマス關係上、直チニ俸給ノ方ニハ此理論ヲ……此恩給法ニ付テ採リマシタ理論ヲ、直チニ採用イタサナイモノトシテ考ヘテ居ルノデゴザイマス

○公爵一條實孝君 甚ダ御答辯ガ私ハ御苦シイト存ジマス、既ニ大河内子爵ノ御間ニ對シテ俸給ト恩給ノ通念ガ同ジデアルト云フコトニナッテ居ルト云フ所マデ煎ジ詰メラレタノデアリマス、先程ノ恩給局長ノ御話ニモ、餘裕ノアル者カラ國家ノ費用ヲ幾ラカヅツデモ削リ取ルノダト云フコトデア

局長官ハソコ迄御考ガ間違ッテ居リマセヌコトヲ私ハ喜ビトスルモノデアリマス、同時ニ斯様ナル一方ニ於テハ既得權ノ侵害ニモナリ、一方ニハ金ヲ餘計有ッテ居ル者ニ唯ダ徒ラニ羨ミ呪ヒヲ掛ケルヤウナ民衆ノ聲ヲ聽クカラ、色ミノ恩給亡國論ノ、骨子ハアリマセウ、根柢ハアリマセウガ、或ル意味ノ恩給亡國論ト云フ中ニハサウ云フ間違ッタ考ガアルコトヲ度ニ聞キマスノデアリマス、ソレデ多額ノ所得ガアルナラバ、之ニ對シテ相當ナ累進課稅ヲナサツタナラバ宜イノデアリマス、決シテ現在ノ所得稅デモ一律一體ニ御取りニナッテ居リマセヌ、一萬圓ノ收入ノ者ニ對シテハ幾ラ、二萬圓ノ收入ノ者ニ對シテハ何ボト云フヤウニ取ル率ガ極ッテ居ルノデアリマスカラ、二十五萬ヤソコラ……將來ハ幾ラニナリマスカ知リマセヌガ、大金持ノ官吏ガ幸ニ罷メレバ或ハサウ云フ者ヨリ幾ラカ取レルカモ知レマセヌガ、ソシテハ家々タルモノデアリマス、二十五萬圓ト云フ金ハ額ガサウ殖エルモノデアリマセヌ、實際問題トシテサウ云フモノハ、國家カラ見タラ二十五萬圓ト云フヤウナ金ハ幾ラノモノデモナイ、サウ云フ額ニ對シテ一方ニ於テハ既得權ノ侵害呼バハリヲスル、一方ニ於テハ不公不正ヲ叫バレ

給……現ニ働イテ居ラレル、國家ノ爲ニ働イテ居ラレル所ノ俸給取ガ、其人ガ金ガアルカラ何ボ減ラスナント云フコトハ毛頭私ハ考ヘテ居ルノデハゴザイマセヌ、サウ云フコトニナルノデヤナイカト云フコトヲ申上ゲテ居ルノデアリマス、ソシテ間違ッタコトヲ恩給ノ觀念ヲ以テ法制局長官ガ俸給ヲ貰ッテ居ル人ニ對シテ、金持ダト云フ觀念ヲ、若シ御持チニナツタナラバ、天皇政治デハゴザイマセヌ、共產黨ノ政府ト私ハ敢デ申上ゲル位ノコトハ出來ルト思フ、ソシテ

觀念ハ法制局長官ガ御持チナサラナイノハ當然デアリマス、或ハ私ハ速記録デ御覽ニナツタカドウカ分リマセヌガ、宮樣ガ天皇陛下ノ御扶持デ御生活ナサツテ居リマス、デア

大キナ資産ヲ有ッテ居ラレテ長イ間ノ奉職ヲ罷メラレタト云フコトト、此俸給所得者ト恩給取ト云フモノトハ、私ハ何等關係ハナイト思フノデアリマス、デ私ハ斯ウ云フコトヲ一體政府ガ御考ヘニナルト云フコトハ、既ニ私ハ正シイ御觀念デナイデハナイカ、公正ナル觀念ヲ政府ガ失ッテ居ルノデハナイカト迄私ハ考ヘテ居ル、デアルカラ私ハ法制局長官ノ如キ、法律ヲ以テ今日マデ御奉公ナサツテ居ル方ニ、法律的ノ正シイ觀念ヲ私ハ伺ヒタカッタノデアリマス、私ガ今質問致シマシタノハ恩給取ニサウ云フコトヲヤルノハ俸給取ニモサウ云フコトヲ矢張りスルカラダト云フ言葉ガアツタカラ、私ハ是ハ容易ナラヌ問題ダト思フテ之ヲ世間ニ私ハ訴ヘナケレバナラスト思ヒマス、幸ニ法制

テ、何ガ故ニコンナモノヲ今回ノ恩給法ニ承認サレタカト云フコトニ付テ、私ハ言葉ヲ盡シテ既ニ總理ニ申上ゲテ居ルノデアリマス、ドウカ其點ハ……私ハ是以上押問答ヲ致シマシタ所ニ要スルニ議論ヲスル爲ニ政府委員ノ御出席ヲ願フタ譯デアリマセヌカラ、是デ止メマス、モウ一點私ニ幸ヒ書記官長ガ御出マシニナッテ居リマスカラ伺ヒタイノデアリマスガ、是ハ一般的ノ問題デ、ソシナコトハ恩給法ト離レタ問題カモ知リマセヌガ、社會政策的ト云フ言葉ガ近頃色ミノ方面ニ使ハレテ居リマス、社會政策ト云フ事カラ見マシテ、恩給法ノ御改正ニ一體ドウ云フ所ニ含マレテ居ルノデアリマスカ、ドウ云フ所ガ御狙ヒ所デアリマス

カ、政府ノ所謂社會政策的ト云フ御言葉ヲ、一ツ平ツタク御説明ガ願ヘレバ非常ニ私ハ參考ニナルコトカト思フノデアリマス

○政府委員(堀切善次郎君) 只今ノ御質問ニ關シマスル點ハ、此度ノ低位ノ傷病恩給ノ制定デアリマス、特殊扶助料ノ増額デアリマス、此點ヲ申シテ居ルモノト考ヘテ居ル次第ゴザイマス

○公爵一條實孝君 書記官長ニモウ一應伺ヒタイノデアリマスガ、社會政策的……給與上ノ社會政策的ト云フコトハ、今例ヲ二

ツバカリ御舉ゲ下サイマシタカラ略、推察ガ出來ルノデアリマスガ、要スルニ低イ所ノ恩給ヲ取ッテ居ルカ或ハ特殊ノ恩給扶助料ヲ與ヘナケレバナラヌモノニ對シテ、少シ歩ヲ好クシテヤルト云フコトデアルナラバ、反對ニ高イ恩給ヲ取ッテ居ルモノヲ減ラスト、斯ウ云フ御考ハ出ナカッタノデアリマスカ、如何デアリマスカ

○政府委員(堀切善次郎君) 其點ニ付キマシテハマア只今考ヘルベキ時機デハナイト考ヘテ居リマシタ次第デアリマス、唯ソレニ關聯イタシマシテ、先刻來御質疑ノ多額所得者ノ恩給停止ト云フコトヲ立案ヲ致シマシタ次第デアリマス

○織田萬君 私モ所謂多額所得ト云フモノニ於テ、チヨット一條公爵ノ御質疑トハ違フタ方面カラ法制局長官ノ御答辯ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、此多額所得ナルモノガ何デアルカト云フコトハ、此改正案ニ依リマスレバ勅令ヲ以テ定ムト云フ御趣意ダラウト思ヒマス、所得ノ範圍及計算方法並停止方法ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ定ムトアリマス、範圍ト云フベキデアルカ、種類ト云フベキデアルカ、ソレモ甚ダ疑ハシト思ヒマス、ケレドモ假ニ範圍トシマシテ其所得ガ何デアルカト云フコトヲ勅令ノ規

定ニ委任スルト云フコトガ、果シテ適當デアアルカドウカ、ト云フノガ私ノ疑デアリマス、デ一定ノ所得アル者ニ對シテハ、其所得ト恩給年額トノ合計ガ六千圓ヲ超ユル額ノ二割ヲ恩給ヨリ差引ク、ト云フコトハ申ス迄モナク直接ニ其受給者タル個人ノ權利義務ニ關係アル……關スル問題ト思ヒマス、大凡立憲制度ノ大原則トシテ、個人ノ權利義務ニ關スルコトハ法律デ以テ定ムベシト云フコトハ、是ハ私が申ス迄モナイコトデアッテ、我が憲法ノ解釋ニ於テモ無論サウデアラウト思フノデアリマス、デ其所得ガ假ニ決マッタトシテ、其計算方法ヤ何カノコトハ、是ハ無論施行問題ニ關スルコトデアリマスカラ、勅令ニ委ネルト云フコトハ、決シテ不適當ナルコトデハナイノデアリマス、其恩給ヲ差引カルベキ基礎トナル所ノ所得ガ何デアアルカト云フコトヲ、恩給法自ラガ指定シナイト云フコトハ、ドウシテモ立憲主義ノ上カラ見テ、是ハ許スベカラザルコトデアアラウト私ハ思フノデアリマス、而シテ實際ニ於テ其所得ガ何デアアルカト云フコトハ、政府ノ御考デハ所得稅法ノ所謂第三種所得デアラシク、此御配付ニナリマシタ整理要綱ノ中ニ示サレテ居リマス、デ既ニ政府ニ於テ其所得ガ何デアアルカ

ト云フコトヲ肚ノ中デ御決メニナッテ居ル位デアアルナラバ、何故ニ之ヲ勅令ノ規定ニ讓ッテ、恩給法其モノニ掲ゲルト云フコトヲ爲サラナカッタノデアアルカ、過日恩給局長ト是ハホンノ立話シデアリマシタガ、所得稅法ハ唯内地ニ限ッテ施行シテ居ルノミデ、朝鮮、臺灣、關東州等ニハ施行サレナイカラシテ、第三種所得トシテモ實際ニハ甚ダ其適用ニ困ルコトガアルカラシテ、成ルベク其適用ノ便宜ヲ得ル爲ニ之ヲ法文ニハ掲グルコトヲ避ケタノデアルト云フヤウナ、或ハ私ノ誤解デアアルカ知ラヌガ、サウ云フヤウナ御趣意ニ承ッタノデアアルガ、サウ云フコトデアリマスレバ、尙又此法文ニソレヲ掲ゲテ置ク必要ガアリハシナイカ、政府ガ實際ノ適用ニ當ッテ其所得ノ種類或ハ範圍ト云フヤウナモノヲ、勅令ニ依ッテ勝手ニ決メテ行クト云フヤウナコトデアレバ、ソレコソ立憲主義ノ上カラ以テノ外ノコトデアアル、益、之ヲ此法文ニ掲ゲテ其所得ガ何デアアルカト云フコトヲ明カニスル必要ガアリハシナイカ、成程植民地等ニ於テ所得稅法ガ適用サレテ居ナイトシテモ、内地ニ於テ適用セラレテアル所得稅法ノ所謂第三種所得デアルト云フコトノ根本ヲ明カニシテ置ケバ、其他ノ土地ニ於テモ之ニ準ジテ其所得

ノ何デアルト云フコトヲ定ムルト云フコトハ容易ニ出來ルコトデアアル、何等不便ハナイノデアアルシ、且ソレガ立憲國家ノ大原則ニ適合スルモノデアルトスレバ、ドウシテ之ヲ法文ニ掲グルコトヲ避ケル必要ガアルカ、私ハソレ等ノ點ニ於テ甚ダ了解ニ苦シム所デアリマスカラシテ、願ハクハ法制局長官ノ御懇篤ナル御答辯ヲ煩ハシタイと思ヒマス

○政府委員(黑崎定三君) 只今ノ御質問ニ付キマシテ、今日ノ制度ト致シマシテ是等ノ事項ノ根據ヲ法律ニ置カネバナラヌト云フ段々ノ御話ガゴザイマシタ、誠ニ其通リト私共モ考ヘテ居ルノデゴザイマス、隨ヒマシテ此事項ニ關シマシテハ恩給法中ニ其基礎ヲ置キマシテ、唯御話ニナリマシタ今度ノ改正案ノ此五十八條中ノ規定デ第四號ノ規定ニ關シマスル所得ノ範圍種類、勿論其積リデ居リマスルガ、範圍計算方法共總テ勅令ヲ以テ規定シ得ル根據ヲ拵ヘタノデアリマス、此不利益ヲ來スヤウナ基礎ニナリマスル所得ノ範圍種類等ヲ勅令ニ委ネルコトガ甚ダ不妥當デアルト云フ御趣旨ノヤウニ拜承イタシタノデゴザイマス、勿論此所得ノ範圍及ビ種類ヲコ、デ法律デ明瞭ニ致シマスルコトガ出來マスレバ、無論好

マシイコトデアルト考ヘテ居リマスルガ、唯此所得ノ範圍種類ハ此法文ノ法律ノ文字ヲ見マスルト、成程勅令ニ全部譲リ放シデアリマシテ、ドンナコトヲ掲ゲテモ宜イヤウナ風ニチヨット見エルノデアリマスルガ、此趣旨ハ先程モ申上ゲマシタヤウニ、恩給ノ給與ヲ受ケテ居テ、而シテ尙ホ自己ノ働キガマダアル、サウシテ世ノ中デソレソレノ仕事ニ從事シテ、サウシテ其仕事ニ對スル相當ノ此勤務ニ基ク給料ノ收入

ガアルト云フヤウナ關係ニ立ツ受恩給者ニ付テ、斯ウ云フ改正規定ヲ適用シタイ、斯ウ云フ心持デゴザイマスルカラ、サウ云フ趣旨デ此勅令ヲ定メル考ヲ持テ居ルノデアリマス、色々植民地等ノ關係ノ御話モゴザリマシタ、成程ソレハ文字カラ申シマスレバ、大體其趣旨ヲ何モ法律ノ……内地ニ行ハレテ居ル法律ノ言葉ヲ使ヘバ、植民地ニハ……詰リ外地ニハ施行サレテナイトキニハ、其文字ガ的確ニ當嵌ラヌカライカヌデヤナイカト云フノハ、餘リ是ハ窮蹙ナ論カトモ考ヘテ居リマス、實質的ニ規定シ得ルコトガ出來マスレバ、無論ソレハ好マシイト思フノデアリマスケレドモ、元々此趣旨ハ此程度ノヤウナ關係ニ於キマシテハ、此立法ノ趣旨ヲ明カニ致シマシテ、勅令ニ

委任シテ戴キマスル方ガ却テ其コトヲ正確ニ分ケテ書キ得ル便宜ガアラウト考ヘマシテ、サウシテ斯ウ云フ風ナ形ニ致シマシタ譯デアリマス

○織田萬君 サウシマス、當局ノ御考デハ、此所得ノ範圍ヲ所得税法ノ……必シモ所得税法ノ第三種所得ニ限ラナイ御考デアリマス、他日勅令ヲ以テ御定メニナル場合ニ、第三種所得以外ノ所得ヲモ、場合ニ依ッテハ考慮シ得ルト云フ御考デアリマスカ

○政府委員(黑崎定三君) 此勅令ヲ以テ定メマスル考ハ、主トシテ勤務所得ノ方ヲ主眼トシテ考ヘテ居ルノデアリマシテ、所謂所得税法ニ見マスル第三種所得以外ニ及ボス積リハナイノデゴザイマス

○織田萬君 只今ノ御答ノ通りニ既ニ第三種所得ニ限ルト云フ迄ノ御決心ガ付イテ居ルトスレバ、何故ニソレヲ法文ニ掲グルト云フコトヲ爲サラナカッタノデアルカ、ソレヲ一ツ承リタイト思フ、其點モ承リタイト思ヒマス

○政府委員(補員詮三君) 御尋ノ細カイコトデアリマスカラ、私カラ御答ヘ申上ゲタイト思ヒマス、御承知ノ通り此法文ニ第三種所得トアリマス場合ニハ、恐ラク所得税法

ニ依ル第三種所得ト云フコトニ規定スルコトニナリマセウガ、此第三種所得ガ、今日ニ於キマシテノ範圍トソレカラ此恩給法デ考ヘテ居リマス、第三種所得ノ範圍ガ、常ニ必ズ將來ニ付キマシテモ一致スレバ宜シウゴザイマスガ、恩給法ニ於キマシテハ、今日ニ於ケル第三種所得ヲ標準ニ致シマスヤウナ譯デ、此點モ同時ニ法律ヲ改正スレバ宜イデヤナイカト御議論ニ對シテハ實ハ差支ナイカト存ジマスガ、其間ニ喰違ヒヲ生ズルヤウナ點モ、小サイ點デアリマスケレドモ、考慮シナケレバナリマセヌシ、ソレカラ所得税法ニ依ルト申シマシタ所デ、御承知通りニ朝鮮ニ於キマシテモ、又關東廳ニ於キマシテモ、南洋ニ於キマシテモ、所得税法ガ施行セラレテ居リマセヌシ、又ソレニ依ル所ノ制令又ハ勅令モ出テ居リマセヌノデ從テソレ等ノ場所ニ於ケル第三種所得トハ何ヲ意味スルカ、恩給法ニ付キマシテハソレ等總テノ地ニ行ハレテ居リマスルカラ、サウ云フコトモ一々斷リヲシナケレバナラナイシ、又第三種所得ノ範圍ヲ如何ニスルカト云フコトハ、其法ノ行ハレテ居ル地方ニ於ケル所ノ……所得税法ノ行ハレテ居ル地方ニ於ケル所ノ都合ヲ見テ參リマスカラ、初メニ申上ゲマシタヤウニ恩給法

ガ考ヘテ居ルヤウナモノト必ズ一致スルカ
ドウカモ分リマセヌガ、ソレ迄……コチラ
ノ方ヲ改正スルマデ税法ノ方ヲ改正シナケ
レバ宜イデヤナイカト云フコトヲ言ヒ得ル
カモ知レセヌケレドモ、コチラノ爲ニ向ウノ
方ヲ……借用シテ居ル本元ノ方ヲ其爲ニ待
タスト云フコトモ出来マセヌシ、サウ云フ
ヤウナ喰違ヒヲ是正スルヤウナコトカラ申
シマシテモ、只今申シマシタヤウナコトニ
致シマシテモ、又所得税法ニ付テハ御承知
ノ通り、減損更訂ヤ其他或種ノモノニ付キ
マシテモ、所得税法其モノノ性質カラ特殊
ナ取扱ヲ致シテ居リマス、例ヘバ綜合所得
ニ付キマシテモ、是ハ所得税法カラ見マシ
タ所ノ特殊ノ取扱ヲ致シテ居ルノデアリマ
シテ、唯所得税法ニ依ル所ノ第三種所得ト
モ申上ゲ兼ネマスシ、又御承知ノ所得税課
税ニ付キマシテハ大體一期前ノ所得ヲ標準
ニスルコトニナッテ居リマスガ、實際課税ニ
依ルモノト依ラザルモノト、又豫算ニ依ル
課税ノモノモアリマスケレドモ、大體ニ於
キマシテハ一期前ノモノヲ致シマスガ、恩
給法ニ於キマシテノ所得ニ付キマシテハ、
成ルベク支給ト所得トヲ接近サセ……理想
カラ申シマスレバ同時ト云フコトニ致シタ
イノデアリマスガ、サウハ事實上技術上參

リマセヌ爲ニ、一期繰越シマシテソレニ依ッ
テ行キタイ、恩給ノ支給期ハ四月七月ト云
フ風ニ一年四期ニナッテ居リマスガ、サウ云
フ時ニ此適用ヲシテ行キタイト云フ關係カ
ラ、丁度一期繰越ノコトニナリマシテ、サ
ウシテ其所得ノ生ズル所ノ時期ハ所得税法
ニ依ル時期トハ違フト云フヤウナコトモア
リマスノデ、ソレ等諸般ノコトヲ考ヘマス
ルト、之ヲ法律ニ全部書ケバ、例ヘバ十條
モ十五條モ之ガ爲ニ費シタナラバ或ハ出来
ルカモ知レマセヌケレドモ此範圍ニ於ケ
ル……此點ニ於ケル範圍ガ何デアルカト云
フコトヲ、法案ノ御審査ノ時ニ政府ノ考ヘテ
居リマスルコトヲ申上ゲテ、ソレニ這入ラ
ナケレバ勅令ニ讓ルコトニシテ戴イタ方
ガ、今申シマシタヤウナ諸般ノ點カラ考ヘ
マシテ適當デアルト云フコトニ考ヘマシ
テ、委任勅令ヲ願フヤウナ次第デアリマス
○織田萬君 私共ノ信ジマスル所ニ依レ
バ、立憲主義トシテハ成ルベク政府ノ自由
ヲ法律ヲ以テ拘束スル、人民ノ權利義務ニ
關スルコトハ政府ガ勝手ニ取扱フコトガ出
來ナイヤウニスルガ爲ニ、法律ヲ以テ規定ス
ルト云フコトデアラウト思ヒマスガ、只今
恩給局長ノ御答辯ニ依リマスルト、今ノ此
要項ニアル所デハ、第三所得ト假ニシテ置

イテアルケレドモ、ソレサヘドウダカ分ラ
ナイ、實際ノ狀況ニ應ジテ勅令ガ勝手ニ決
メテ行クノダト云フヤウナ工合ニシカ受取
レマセヌノデゴザイマスガ、ソレガ正シク
私ガ立憲主義ニ反スルモノデアルトシテ御
尋ヲシテ居ル所デアル、ソレデ所得税法ノ第
三種所得ノ内容ガ變ルト云フコトモ或ハア
リマセウ、併シ法律ガ既ニ他ノ法律ノ定ム
ル所ニ依ル以上ハ、其法律ノ變ルコトニ依ッ
テ影響ヲ受ケルト云フコトハ、已ムヲ得ヌ
コトデアリマス、又植民地等ニ於テ所得税
法ガ施行サレテ居ナイ所ニハ、第三種所得
ト云フモノヲ決メルト云フコトハ困難デア
ルト云フヤウナコトモアリマセウ、併シソ
レハ唯法律ガナイト云フダケノコトデア
ル、ソレコソ勅令ヲ以テサウ云フ場合ニハ
所得税法ノ規定ヲ準用シテ決メルト云フヤ
ウナコトヲ御書キニナレバ、ソレデ少シモ
不足ガナイモノデアリマス、ソレ等ノ點ヲ
考ヘテ見レバ、政府ニシテ既ニ此所得ノ何
タルコトハ所得税法ノ第三種所得トシヤウ
ト云フ見當ガ付イタナラバ、進ンデソレヲ
法文ニ御書キニナルト云フコトガ、私共ハ
立憲國家ノ原則トシテ適當デアルト信ジマ
ス、サウシテ法文ノ體裁モ之ニ依ッテ定マル
ト考ヘルノデアリマス、之ヲ單純ニ法文ノ

「レダクシヨ」ノ問題デアアルノミナラズ、
立憲制度ノ原則ノ現ハレデアルト思フノデ
アリマスカラ、甚ダ諄イヤウデアリマスケ
レドモ、更ニ只今申シマシタ點ニ付テ御答
ヲ願ヒタイ
○政府委員(補員詮三君) 只今ノ御説ノ、
出来ルコトナラバ詳シク法律ニ書イタ方ガ
宜シイデヤナイカト云フ根本ノ大筋ニ於キ
マシテハ、誠ニ御同感ヲ申上ゲル次第デア
リマスガ、併シ例ヘバ先程カラ例ニ引キマ
シタ植民地ノ方ノ第三所得ニ致シマシテモ
内地ノ所得税法ニ依ルト云フ制令ガ出レバ
宜シウゴザイマスガ、假ニ所得税ニ關スル
制令ヲ作ルト致シマシテモ、必シモ朝鮮ナ
ラ朝鮮ノ事情ニ於キマシテハ、内地ノ通り
ニ之ニ依ルト云フ制令ダケガ作レルトモ限
リマセヌシ、現ニ博士ガ御承知ノ通りニ、
朝鮮ノ所得税ニ當ルヤウナモノハ學校組合
費ト云フモノデ、事實個人所得ニ付テハ行
テ居ル譯デアリマスカラ、サウ云フヤウナ
モノノ範圍ダケニ於キマシテハ、全ク其内
容ハ内地ノ所得税額トハ違ッテ居リマスヤ
ウナ譯デ、從ッテ制令ノ出来マサル時ニ、決
シテ……制令ハ議會ハ協賛スル譯デモアリ
マセヌガ、サウ云フヤウナモノノ出来マス
際ノコトニ考ヘマシテモ、律令ノ出来マス

トキニ考ヘマシテモ、ソレガ内地ノ通りニ行クトハ無論考ヘラレナイノデアリマス、從テ今仰シヤッタヤウニ、根本ト致シマシテ、出來ルコトナラバサウ詳シク書クコトガ可ナリトハ考ヘマスケレドモ、實際ノ事情ヲ考ヘテ見マスルト、サウ云フコトハ不適當デアル、又今ノ御話デサウ云フ部分ダケ勅令デ述ベレバ宜シイデヤナイカト云フコトニナリマスルガ、即チ法律デト云フコトニナリマス、サウ云フ風ニハ勅令デ書ク譯ニ行キマセヌシ、又ソレニ委任勅令ヲ置ケバ宜イデヤナイカト云フコトニナリマセウガ、委任勅令ノ點ハ丁度今御咎メヲ受ケテ居ルヤウナ譯デ同ジ立場ニナリマスシ、又モウ一ツハ普通カラ言ヘバ、所得ハ何デアアルカト云フコトハ、此事項ナラ此事項ダケデ運用ノ概念ハ決マル譯デゴザイマスケレドモ、サウ云フ不明瞭ナ概念ニ依ルコトガ出來ナイカラソコデ勅令デ明瞭ニシタイ、勅令ノ範圍ハ……勅令デ何ヲ決メルカト云フコトハ、斯ウ云フ際ニ豫メ申上ゲテ置キタイ、斯ウ云フ趣旨ニ外ナラヌノデアリマス、只今ノ御説ノ根本ノ御説ニ付キマシテハ、固ヨリ異存アル次第デハゴザイマセヌ

○織田萬君 私ハ何モ制令ヤ律令ヲ以テ朝

鮮、臺灣ニ此恩給法適用ノ爲ニ特別ノ所得稅法ヲ御拵ヘニナル必要ガアルト云フヤウナコトハ、毛頭伺フテ居リマセヌ、サウ云フヤウニ御取リニナッタナラバ、私ノ言ヒ方ガ惡カッタカモ知ラヌガ、大變ナ誤解デアリマス、此恩給法ハ申ス迄モナク是等ノ土地ニ除外ガナク、總テ今日マデ適用サレテ居ルモノデアリマセウシ、又改正ニナリマシテモ無論ソレニ相違アリマセヌガ、サウシマスルト云フト、恩給法ニ其根本的ノ規定ガアツテ、サウシテソレ等ノ地方ニ於テ適用上特ニ定メル特別ノ規定ヲ要スルモノガアレバ、何モ制令、律令等トハ關係ナク、勅令其モノガソレ等ノ施行細則ト云フヤウナモノヲ當ニ定ムベキ任務ヲ持ッテ居ルノデアアル、法文ニ此所得トハ何デアアルカト云フコトヲ明カニサレルト云フコトハ、少シモ是ハ不便デハナイト思フ、而モ其不便ヲ口實トシテ立憲國家ノ大原則ニ矛盾スルヤウナコトヲ爲サルト云フコトハ、是ハドウモ法制上、立法政策ノ上ニ於テ私ハ甚ダ好マシカラヌコトト信ズルノデアリマス、併シソレハオ前ノ憲法論ダト云フコトデ、勝手ニ見解ヲ立テレバ宜シイト云フコトデアレバ、是以上私ハ何モ申上ゲマセヌ

○森平兵衛君 整理要綱ノ中ニアリマス具

體的ノ問題デアリマスガ、特殊扶助料ノ増額ト云フコトガアリマス、「公務起因死亡者及増加恩給受給者ノ遺族ノ扶助料ニハ死亡ノ時ヨリ五年間各扶助料ノ十分ノ三ヲ加給ス」トアツテ其經過規程ガアリマス、是ハ實例トシテドウ云フコト……之ヲ十分ノ三ヲ加給スルコトハ分ッテ居リマスルガ、五年ヲ經過セザルモノニ付テハ、過去ニ死亡シタル者ノ遺族ト雖モ云々ト云フコトガアリマスガ、此文書デハチヨット私ハ明瞭ヲ缺クノデアリマスガ、ドウゾ御説明ヲ願ヒタイ

○政府委員(總貝詮三君) 要綱ハ極メテ端

折りマシタ爲ニ、御分り惡カッタト存ジマスガ、從來恩給ニ付キマシテハ、恩給法デ或者ニ恩給資格ヲ認メマシテ、恩給給與ヲ致シマス場合ニ、將來ニ其原因ガ生ジタ者ニダケヤルト云フノガ原則ニナッテ居リマス、所ガサウ云フコトニナリマスルト、今年十月一日カラ施行イタシマス、十月一日後ニ怪我ヲシタ者トカ或ハ死シタ者トカ、言換ヘレバ死ヌ場合、今年ノ十月一日以後ニ死シタモノデナケレバ増額ヲシテヤラヌト云フコトノ結果ニナリマス、普通カラ申セバ法ガ將來ノ事實ヲ支配スルト云フコトデ、要件ガ法律施行後ニ生ジマスカラ、サ

ウ云フ者ハ生キマスガ、是ハサウデナシニ例ヘバ四年前位ニサウ云フ事實ガアリマシテモ、其死シタ時カラ五年間ト申シマシテモ、既ニ四年前キデアレバ四年ダケ經過シテ居リマスカラ、アト一年分ダケ此規則デ以テ増シテヤルト云フコトニナリマスノデ丸ミ五年前ニサウ云フ原因ガ生ジタトスレバ、ソレハ増シテヤレナイト云フコトニナリマス、又一年前ニ死亡シタヤウナ場合デモ、アト四年間ダケ増額シテヤルト云フコトニナリマス、其意味デ週及シテ行クト云フコトニナル譯デアリマス

○森平兵衛君 其次ノ要綱ニ矢張り此「一

時恩給及一時扶助料付最短期間ヲ置クコト」此ノ最短期間ヲ繼續在職三年トス」トアリマスガ、是モチヨット了解ガ出來ヌノデアリマスガ、之ヲ一ツ御説明願ヒタイ

○政府委員(總貝詮三君) 此意味ハ現在一

時恩給……一時恩給ト申シマスルノハ昔ノ文官ノ退官賜金ニ該當スルモノデアリマス、一時扶助料ト申シマスルノハ、丁度本人ガ生キテ退官スレバ退官賜金ヲ貰ヘルヤウナ事情ニアツテ、サウシテ本人ガ死ンデシマッタ時ニ遺族ニヤルノデ、同ジヤウナ額ヲヤル譯デアリマスガ、其場合ニ現在ノ法デハ一年以上居レバ其一年ニ付テ幾ラ、例ヘバ

五年居リマシテ退官スル場合、或ハ死シテ致シマスルト、五年分ヲヤッテ居ッタ譯デアリマス、ソレハ繼續シテ居リマスノガ、五年ナラバ五年分ナル、是ハ切レノニナル譯デアリマス、ガカラサウ云フ場合ハ今回ノ改正等ニ於キマシテモ、三年以上繼續シテ居ッタモノデアッテ罷メルトカ、或ハ死亡シタ場合ナラバ、是ハ五年分ナル、矢張り同ジコトニナリマス、所ガ假ニ二年在職シテ罷メタ、詰リチヨット勤メテ直グ罷メタト云フヤウナ者ハ、今迄ナラバ一年以上居レバソレデ宜カッタノデスカ、二年居リマシタ場合ハ二年分ノ一時恩給ヲ貰、タノデスガ、今度ノ規定ハ少ナクトモ三年居ナケレバイカヌ、是ハ殆ド世界ノ大部分ノ立法例ト申シテモ過言デナイ位三年ガ限度ニナッテ居リマスガ、今度ハ三年居ナケレバナラヌノデスカラ今ノ二年ト云フ場合デハ貰ヘナイト云フコトニナル次第ゴザイマス

○森平兵衛君 ソレデハ是ハ何デスネ、在職三年ト云フコトハ一年延ビタコトニナルノデ、サウスルト恩給ノ年限ノ延長同様ノ意味ト云フコトニ了解シテ宜シイノデスカ

○政府委員(補員詮三君) 少シ其點ハ違ッテ居リマシテ、今マデ一年ト申シマスノハ一年未滿デハヤレスト云フヤウナ計算ニ

ナッテ居リマシタカラ、一年未滿ト云フコトニナリマシタラ、一年未滿ハ端タデスカラ計算ガ出テ來ナイ、斯ウ云フ結果ニナリマシタノデ、此三年ニナリマシタノハ、三年以上居ナケレバナラヌト云フ一ツノ要件ノ意味ヲ加味シテ居リマスノデ、年限延長ナラバ例ヘバ今度ノガ文官十五年ガ十七年デナケレバヤレスト云フノハ最低ト見ラレマスケレドモ、實ハソコニ行ッテ恩給ニナルト最長ノ方ヲ考ヘタトモ考ヘラレルノデアリマシテ、是ノ方ハ、下ノ方ヲ切り棄テテ、ソレ未滿デハ全然ヤレナイト云フヤウナ趣旨ニナリマスカラ、大體同ジニ御考ヘ下スッテモ結構デアリマスガ、非常ニ細カイ議論ヲスレバ幾ラカ違ッテ居リマスガ……

○森平兵衛君 ソレカラ是ハマア既得權トカ希望權トカ云フコトハ別ニシテ從來變リナイト了解シテ宜イデスカ

○政府委員(補員詮三君) 今ノ二年或ハ一年ト云フ者ガ貰ヘナイト云フ點ガ從來ト違ッテ居リマス、其他ハ從來ト同ジコトデアリマス

○森平兵衛君 先刻一條公爵カラ警察官優遇ノ問題ガ出テ居リマシタガ、私ハ此際斯ウ云フ一時扶助料ト云フヤウナモノニ付テ例證ヲ引イテ御尋ネシタイト思ヒマスガ、

假ニ巡查部長ガ其公務ノ爲ノ原因デ死亡シタト云フ場合ニハ、假ニ五十圓ナラ五十圓ノ月給ヲ貰ッテ居ルト云フコトニシマスルト、具體的ニ扶助料トカ其他ノモノニ於テ幾ラ貰ヘルモノデアリマスガ、直グニ御答辯下サラナクテモ宜シイガ、計數ヲ明カニシテ之ニ對スル一時扶助金ト云フヤウナモノヲ、アトデ御答辯下サッテモ宜シウゴザイマス、モウ一點ハ恩給融通ニ付テハ金融ノ途ヲ開カシムルコトニ付キ考究スルコトトスルモ今回此改正法律案ニハ之ヲ包含セシメナイト云フコトデアリマシタガ、是ハドウ云フ爲ニ考究ハシタケレドモ、法律ノ中ニハ包含ハシテ居ナイ、但シ外ノ方法ニ依ッテ立替拂ヒトカ、或ハ之ニ付テノ金融ノ途ヲ開イテオヤリニナッテ居ルノデアリマスガ、此二點ヲ御伺ヒ致シマス

○政府委員(補員詮三君) 前ノ御尋ネハ今即答イタシテモ宜シウゴザイマスケレドモ、書イタモノデ差上ゲタ方ガ正確カト思ヒマス、是ハ一時扶助料、一時恩給ノ問題ゴザイマセヌデ、公務ノ爲ニ死亡シタ場合ハ普通ノ扶助料ガ其遺族ニ參リマス、年金タル扶助料ガ參リマス、額其他ニ付テハ計算シテ差上ゲタイト思ヒマス、ソレカラ第二ノ恩給融通ノ問題デアリマスガ、是ハ

研究シタト申シマスノハ、假ニ前拂ヒト云フヤウナ方法ニシテ貸ストスレバドウ云フ金額ガ貸セルカ、之ニハ恩給ノ權利ノ失權ト云フヤウナ所謂危險ヲ多分ニ考ヘナケレバナリマセヌ、ソレカラ之ヲバラノト今日金融業者ナドガ脱法的ニ貸シテ居リマスヤウナ方法デ、利益ノアルダケ選リ喰ヒ致シテ行クコトニナレバ、言換レバ保險會社ガ保險ニ取ルヤウナ、サウ云フヤウナモノダケヲ取ッテ參リマスルト是ハ利益ニナリマスケレドモ、國家ガ統一的ニ考ヘル場合ニ於キマシテハ、實際實情ハ明ラカニ金ガ欲シイ、國家カラ頂戴スル恩給デモ何トカ融通シナケレバ困ル、病氣ノ人トカ或ハ老後ノ人トカ、非常ニ困ル人ガ救ヘナイト、國家ノ立場トシテハ目的ガ達セラレナクナルノアデリマス、サウ云フ人ヲ包含スルスレバ、全體ヲ打ッテ一丸トシテ行カナケレバ經濟的ナ基礎ガ確立イタシマセヌノデ、サウスル爲ニハ一體金利ト云フモノモ考ヘナケレバナリマセヌシ、或種ノ意味ニ於ケル保險料ト云フヤウナ意味モ考ヘナケレバナリマセヌシ、之ヲ總體トシテ危險ヲ負擔スルト云フコトモ考ヘナケレバナリマセヌシ、又サウ云フコトヲヤリマス爲ニハ資金ガ要リマスカラ、資金ノ出所ト云フモノモ

研究シナケレバナリマセス、且又是ガ一種ノ前貸ト云フヤウナコトニシテモ、一種ノ擔保ミタヤウナ形ニナリマセガ、サウ云フコトニナリマセバ、他ノ私權トノ關係ニ於ケル優先權ト云フヤウナモノヲドウスレバ宜イカ、民事訴訟法ニハ差押ノ督促ナドモアリマセガ、其外先取特權ヤナドサウ云フモノ、又稅法トノ關係モアリマセガ、稅法デハ御承知ノ通り稅法ニ依ル場合ハ此恩給デモ強制執行ガ行キ得ルコトニ今日デモナッテ居ルノデアリマセガ、サウ云フヤウナ優先權ナドノ關係ヲドウスルカト云フヤウナコトヲ法律的ニ考ヘルコトト經濟的ニ考ヘルコトト、而シテ其數字ヲ如何ニスベキカト云フヤウナコトガ澤山ゴザイマスルノデ、今回ハ實ハマダ間ニ合ヒマセヌデシタカラ、切離シテ別ニ研究項目トシテ考ヘル必要ガアルト思ヒマス、是ハ可ナリ大キナ社會的ナ問題ニナルガラウト思ッテ居リマス、ソレデ可ナリ研究シタイト云フ積リデ、計數ナドハ大體勘定ハ致シテ居リマスケレドモ、サウ云フ次第デ今度ハ間ニ合ハナカッタノデアリマス

○森平兵衛君 今回ハ間ニ合ハナカッタケレドモ、恩給ヲ貰ッテ居ル中ニハ非常ナ憐ムベキ、同情スベキヤウナ人が多イカラ、

サウ云フコトニ付テハ政府ハ續イテサウ云フコトヲ研究シテ、其人等ノ生活ニ付テ斯ウ云フ内容ニ助ケテヤルト云フコトニ付テハ、次ノ議會ニデモ御出シニナル御考ガアルノデアリマスカ

○政府委員(補員詮三君) 次ノ議會ニ間ニ合ヒマスカドウカハ今確定的ニ申上ゲラレマセヌガ、サウ云フ意思ヲ持チマシテ出來得ルダケ努力シテ行キタイト云フ積リデ居リマスガ、諸般ノ經濟事情ナドモゴザイマスルカラシテ、殊ニ國庫ニ於キマシテハ、非常ニ御承知ノ通りニ今日は等ノ方面ニ出ス金ガ少ナクナッテ居リマスカラ、其金ヲドウスルカト云フ問題モ相當ニ考慮シナケレバナリマセヌノデ、是ハ餘程是等ノ事情ヲ考慮イタシマシテ、其上デ最後ノ決定ヲシナケレバナリマセヌカラ、來年ノ議會ニ必ズトハ御答出來ナイト思ヒマスガ、サウ云フ方面ニ向ヒマシテ尙ホ研究イタシタイ、殊ニ恩給ハ御承知ノ通り、恩給ヲ受クル權利ハ公權デモアリマスルカラシテ、從ッテ單純ナ私法上ノ權利ノ處分ト云フモノトハ違ヒマシテ、色ミノ各方面ニ、例ヘバ官規ト云フ方面ニモ影響ヲ及ボスコトモアリマスルシ、從ッテ假ニ此金融ノ途ヲ付ケテヤルニ致シマシテモ、形式及ビ其方法ト云フコ

トニ付キマシテモ、受給者ノ體面又國家ノ公ノ利益ト云フヤウナコトモ、恩給ガ單純ナ私法上ノ給與ノヤウナモノトハ違ヒマシテ、先日來此處デモ色ミ御質問ニナリマシタガ、一種ノ名譽的ナ意味ヲ多分ニ含ンデ居リマスカラ、サウ云フコトモ考慮シナケレバナリマセヌト思ヒマス、諸般ノ事情ヲ考ヘマスト、屹ト來年ト云フコトヲチョット斷言イタシ兼ネマスルガ、サウ云フ見地ニ基イテ諸般ノ研究ヲ進メテ行キタイ、目下其研究ノ途中デアルト云フコトダケヲ申上ゲルヨリ外ナイノデアリマス、誠ニ甚ダ遺憾デゴザイマスガ、ソレデ御諒承ヲ願ヒマス

○森平兵衛君 其以上ハ追究ハ致シマセヌガ、過般御提出ニナリマシタ恩給受給者ノ年額別ノ人員ヲ拜見イタシマシテモ、昭和六年度末ノ現在ニ於テ二十二萬五千アリマスル内デ、七百圓以下ノモノガ二十萬人バカリアルノデアリマス、是ハ政府ニ於テモ既ニ御承知デアリマセウガ、此恩給受給者ガ恩給ヲ抵當トシテ高利貸カラ金ヲ借リル、隨分此コトニ付テ惱ンデ居ルト云フコトハ我ミノ始終耳ニスルヤウナコトデアアルノデアリマスカラシテ、私ハ今回ノ恩給法ノ改正ニ從ッテ、可ナリ少額ノ受給者ニ對シテハ

何等カ此郵便貯金ノ、預金部ノ金ト云ヒマスルカ、或ハ簡易保險ノ金ト云ヒマスルカ、矢張り一ツノ是ハ社會政策的ノ問題デアリマスカラ、前刻一條公爵カラ社會的ノ意味ト云フモノハドウ云フ點ニ含ンデ居ルカト云フ御質問ガアツタ點ニ於テモ、私ハ斯ウ云フコトガ非常ニ重大ナル問題ダト思フ、恩給法ヲ改正スルト云フコトニ付テハ、多額ノ受給者ニ付テハ假ニ恩給ノ二割ヲ停止スルト云フ法ガアレバ、又少額ノモノニ付テハ是ダケノ年金ニ付テハ金融ノ途ヲ與ヘテヤルト言ウテ、一方ハ停止、一方ハ割引ヲスルト云フノデアアルカラ、片方ノ少額ニ對シテモ優遇スル途ヲ開イテヤルノガ當リ前ノコトデアアル、其一方ノ方ヲ御ヤリナッテ、一方ノ方ニ對シテ何等之ニ融通ノ途ヲ講ジテ御ヤリニナラヌト云フコトハ、非常ニ私ハ遺憾ニ考ヘルノデアリマス、併シ今日ハサウ云フモノヲ研究シテ居ルト云フコトデアリマスルガ、私ハ斯ウ云フコトニ付テハ矢張り相當政府ニ於テ、隨分只今恩給局長ノ御話デハ、政府ニ於テモ餘裕ノ金ガナイ時デアルト、ソレハ御尤デアリマス、併シ米穀法ダトカ或ハ其他ニ於テハ隨分何億、或ハ農村負債整理法ニ於テハ六千萬圓ト云フヤウナ、色ミ各方面ニ

トニ付キマシテモ、受給者ノ體面又國家ノ公ノ利益ト云フヤウナコトモ、恩給ガ單純ナ私法上ノ給與ノヤウナモノトハ違ヒマシテ、先日來此處デモ色ミ御質問ニナリマシタガ、一種ノ名譽的ナ意味ヲ多分ニ含ンデ居リマスカラ、サウ云フコトモ考慮シナケレバナリマセヌト思ヒマス、諸般ノ事情ヲ考ヘマスト、屹ト來年ト云フコトヲチョット斷言イタシ兼ネマスルガ、サウ云フ見地ニ基イテ諸般ノ研究ヲ進メテ行キタイ、目下其研究ノ途中デアルト云フコトダケヲ申上ゲルヨリ外ナイノデアリマス、誠ニ甚ダ遺憾デゴザイマスガ、ソレデ御諒承ヲ願ヒマス

○森平兵衛君 其以上ハ追究ハ致シマセヌガ、過般御提出ニナリマシタ恩給受給者ノ年額別ノ人員ヲ拜見イタシマシテモ、昭和六年度末ノ現在ニ於テ二十二萬五千アリマスル内デ、七百圓以下ノモノガ二十萬人バカリアルノデアリマス、是ハ政府ニ於テモ既ニ御承知デアリマセウガ、此恩給受給者ガ恩給ヲ抵當トシテ高利貸カラ金ヲ借リル、隨分此コトニ付テ惱ンデ居ルト云フコトハ我ミノ始終耳ニスルヤウナコトデアアルノデアリマスカラシテ、私ハ今回ノ恩給法ノ改正ニ從ッテ、可ナリ少額ノ受給者ニ對シテハ

於テ此農業者或ハ商工業者ヲ救済スル意味
ニ於テ、多額ノ國帑ヲ費シテ居ルノデア
テ、恩給ノ此受給者ニ付テハサウ澤山ノ金
ガ要ラヌノデアリマス、モウ大體ガ、全部
給與シタ所ガ一億四千萬圓デアリマスカ
ラ、其一千以上ノ人ヲ除ケレバ、其下ト云
フコトニナッテ恩給ニ困ッテ居ルト云フ人ハ
極ク僅デアル、モウ五千萬圓位ノ資金デモア
レバ十分此人達ヲ救済スルコトガ出來ルト
云フ、サウ云フ道ヲ講ジテ置カズニ之ヲ御
改正ナサルト云フコトハ、是ハ非常ニ遺憾
ニ思フ、ドウカ斯ウ云フコトハ成ルベク至
急ニ一ツ御講ジ下サッテ、矢張り國家ノ恩
典ニ浴シテ、其人等ガ矢張り生活ヲシテ居
レバ、生活ノ安定スルヤウニ、私ハ國家ト
シテ何處マデモ此人等ニ對シテ從前ノ功績
ニ對シテ優遇ヲスルト云フコトハ私ハ必要
ナコトダト思フ

○委員長(伯爵溝口直亮君) ソレデハ今日
ハ委員會ハ此程度ニ致シマシテ、明後日午
前十時カラ開會イタシマス

午後三時二十一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵溝口 直亮君

副委員長 男爵井上 清純君

委員

公爵一條 實孝君

子爵伊東二郎丸君

眞野 文二君

織田 萬君

塚本 清治君

男爵淺田 良逸君

男爵渡邊 修二君

今井 五介君

森 平兵衛君

政府委員

內閣書記官長 堀切善次郎君

法制局長官 黑崎 定三君

內閣恩給局長 樋貝 詮三君

説明員

陸軍歩兵大佐 中井良太郎君

海軍中佐 多田 武雄君

昭和八年三月二十二日印刷

昭和八年三月二十三日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局